

## カリキュラム(計画) 第5回外国人児童生徒指導リーダー研修会(9月12日)

作成者 氏名：高島 美保

養成・○研修 / 基礎・○専門・支援員 (該当するものに○)

★参照したモデルプログラムNO. (報告書 pp. 207-244) 下線：内容・項目 (pp. 72-76)

日時・場所	2018年9月12日 時間 13:30~16:30 浜松市教育センター			
実施団体・機関	浜松市教育委員会			
研修・授業名	第5回外国人児童生徒指導リーダー研修会 兼 DLA研修			
受講者	・人数：11人 ・受講者の立場 リーダー研修受講者と外国人担当の受講希望者 ・年齢層：20代(0)名 30-40代(2)名 50代(9)名 60歳以上(0)名			
演題・テーマ☆	言語能力測定ツール「DLA」の実施方法と活用の仕方 ☆研修内容(報告書 pp. 72-76)を反映			
到達目標	DLAの考え方や実施方法を理解し、その結果をどのように指導に生かしたらよいか理解できる。			
活動展開 (180分) 休憩 10分を含む	★	形態	留意点	参考資料
委員会挨拶 (5分)				
<b>導入：</b> DLA測定ツールについて、実施の様子や子供の様子について話し合う。 (10分)		話し合い	・実施したことがないリーダーは、DLAを行う際の不安や困難について話し合う。 ・日本語の「どんな力」を把握するためのツールなのかを理解し、 <u>生活言語能力と学習言語能力</u> の違いに気付く。	文科省 「外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメント」
<b>展開：</b> 1. <u>DLA測定ツール</u> について、考え方や実施方法について確認する。 ①DLAの考え方について知る。 (10分) ② <u>実施方法</u> を確認する。 (35分)	⑱	講義	・ <u>実施の仕方</u> や留意点について、DVDやテキストを見ながら確認する。 ・DLAの結果を指導に生かすため、講師の先生から様々な活用事例を聞く。	
2. DLA結果の活用事例について知る。(50分) 講師：豊橋市立飯村小学校 大谷喜久代	⑳	講義	・事例をもとに授業案を考える活動を通して、生かし方を身に付ける。 ・個人作業後に、共有する。	
3. 結果をどのように活用すると授業へ生かすことができるかを考える。(35分)	㉑	演習		
<b>まとめ(振り返り)：</b> 指導講評 (15分) アンケート記入・連絡・閉会 (10分)				